英語が上達する　子育てしやすい　猫が飼える……

30代40代女性が急増

今、「シェア住居」がすごいんです！

近年「シェア住居」に暮らす30代、40代の女性が急増中。趣味の時間を持ちたい、新しい人と出会いたい、リフレッシュがしたいという思いをかなえる新しい暮らしの選択、あなたもしてみませんか？

Text＝福田 彩　Photograph＝宮本信義　Design＝増井かおる

お隣さんは外国人？世界が身近になる大型コミュニティー

キッチン前に広がるプライベートラウンジ。居住者の交流のハブになる場所だ。

Oさん（32歳）
職業：理学療法士
居住年数：9カ月

1. ビリヤード台やバーカウンターなどが設置されたラウンジ。クローズドな空間なので、大規模なイベントの会場として使われる。2. 24時間いつでも集中できるワーキングラウンジ。コピー機も完備。3. 約6畳の個室には洗面台が備え付けられている。家具付きか家具なしかは選択できる。4.「バルミューダ」などの最新家電も並ぶ共用キッチン。

おしゃれなカフェやラウンジなどが併設され、180戸の住居を誇る「ワールドネイバーズ護国寺」。数十人の外国人が居住し、彼らを交えながら入居者同士によるイベントやサークル活動が盛んに行われている。

今回、毎週水曜日の20時30分から開かれる英語部の様子をのぞかせてもらった。同物件では、フェイスブック上で各イベントの管理をしていて、そこで参加者を募るという。中心メンバーのOさんに話を聞いた。

「バイリンガルの友人を先生に、毎回テーマを変えて英語でロールプレイングをしています。私は少し前までワーキングホリデーで海外に住んでいたのですが、日本にいると英語を話すチャンスがない。ここでは日常生活の中で英語を使う機会があるので、語学力をキープできています」

ワールドネイバーズ護国寺
- 所在地：東京都文京区
- 賃料：7万4000円〜9万3000円（別途共益費、管理費）
- 運営会社：グローバルエージェンツ

教えてくれる人
住宅ジャーナリスト
山本久美子さん
リクルートにて「週刊住宅情報」「都心に住む」などの副編集長を歴任。現在は住宅メディアへの執筆やセミナーなどを行う。著書『買い上手こそ！中古マンション購入＆リフォーム「得」する選び方・改装術』（小学館）のほか、「All About」などで連載中。

Q1 最近よく聞く「シェア住居」って？なぜ注目されているの？

A1 入居者同士の交流が魅力。手軽に始められる点も人気。

「シェア住居」とはキッチン、リビング、浴室等の設備を複数人でシェアして暮らす住宅。入居者同士に交流が生まれ、誰かが家にいる安心感があることから、人気が高まっています。また、必要最低限の家具や家電などが備えられているため、身軽に賃貸暮らしを始められることも人気の理由。シェアハウス専用ポータルサイト「ひつじ不動産」を運営するひつじインキュベーション・スクエアによると、サイトに登録された住戸数は2013年からの4年間で2倍以上も増加するなど、市場は拡大しています。

Q2 働く女性にはどんな「シェア住居」がおすすめ？

A2 「事業者介在型」を選ぶと安心。何を重視するかをよく考えて。

「シェア住居」の中には入居者同士で話し合って運営するものもありますが、運営事業者と各入居者との間で個別に契約を結ぶ「事業者介在型」の物件を選ぶと安心です。運営事業者は入退去時の手続きだけでなく、定期的に巡回するなどして入居者のサポートに当たってくれます。入居者同士にトラブルが発生しても、間に入ってくれるので心強いです。また「シェア住居」は「ルームシェア」「シェアハウス」「ソーシャルアパートメント」「サービスアパートメント」など、さまざまな名称が用いられています。それぞれに公的な定義があるわけではないので、物件によってその内容に違いはありますが、規模や内容に応じて大まかに分類されています。費用、コミュニケーションニーズの有無、共用施設の充実具合など、自分が何を重視したいのかを見極めて物件を選ぶとよいでしょう。

ソーシャルアパートメント
- 大規模な施設に大人数が暮らす
- プライバシーが守りやすい
- 同居人に多様性がある
- 共用部分が充実
- サークル活動などが盛んな物件もある
- ワンデー、ウイークリーなどを併設する場合も

シェアハウス
- 一軒家から大型の物件まで規模はさまざま
- 少人数の場合、同居人との距離が近い
- 女性限定の物件も多い
- コンセプト型（特徴を持った）の物件が多い
- 外国人を受け入れている場合はゲストハウスと呼ぶ

Q3 探し方のポイントや注意点を教えて！

A3 格安な違法物件には要注意。契約内容もしっかりと確認を！

一般的な賃貸住居と比べて費用が抑えられるという印象がある「シェア住居」ですが、きちんとした運営管理がなされている物件は、必ずしも家賃が安いとは限りません。値段を重視しすぎてしまうと、安全性や快適性に問題のある、違法・脱法な物件に行きついてしまう可能性もあります。そして、借りるときは必ず契約書を交わしてください。契約前には内容をよく確認し、契約更新や退去時の手続きなどの重要事項の説明をしっかりと受けておきましょう。敷金・礼金、仲介手数料は不要なケースが多いですが、保証料は預けるのが基本。退去時に返却されるものですが、その扱いについても確認しておいてください。